


「ふね遺産」（推薦様式）：A4 一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の 名称・所属 または所有者	対象物：スカンジナビア号（旧ステラ・ポラリス） 所有者：なし ※ 串本沖に沈没した段階で、ペドロ・ファースト AB 社（スウェーデン）は所有権を放棄したと推断される。	（別添） 海事技術史研究会誌 第25号、第3章「スカンジナビア沈没の謎」を参照
2. 対象物の作成・ 存在時期	対象物の作成： ベルゲンライン社（ノルウェー）発注 イエータ・ヴェルゲン造船所（スウェーデン）建造 存在時期： （ステラ・ポラリスとして）1926 年～1969 年 （スカンジナビア号として）1969 年～2006 年、以後海底に存在	
3. 現状 （写真添付）	2006 年 9 月に和歌山県串本町の沖合約 3 km・水深 72m の海底に沈没。原形をほぼとどめて現存する（2024 年 5 月確認）。  （2024 年 5 月 14 日 合同会社スティングレイジャパン・スタッフにより撮影）	
4. ふね遺産 認定基準の 該当項目(**)	【認定対象】 4 【認定基準】 8	
5. 歴史的・ 工学技術的意義	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5,000 トン級の船でありながら、ヨーロッパのロイヤル・ヨットの伝統をよく伝える秀麗なクルーズ船である。 ■ 第二次世界大戦の風雪に耐え、「七つの海の白い女王」と称えられて世界の海で活躍した。 ■ 我が国のレジャー産業（日本初のフローティング・ホテル兼レストラン）の創設と地域振興に多大な貢献をした。 ■ 世界的に貴重な船舶海洋文化遺産として、地域住民による自発的な保存運動を呼び起こした。 ■ 日本で初めての「水中ふね遺産」の例となりうる。 ■ 2023 年に沼津市により「ぬまづの宝 100 選」に選定された。 	
6. 参考資料・文献 （本表に収まらない場合は別途添付する）	① 伊藤、前島：「沼津市木負沖に係留されていたスカンジナビア（旧ステラ・ポラリス）の軌跡—日本の船舶海洋文化のあり様と継承に関連して」海事技術史研究会誌 第 24 号、2023 年 ② 伊藤、前島：「秀麗な歴史的船スカンジナビア（旧ステラ・ポラリス）に魅せられて」前掲誌 第 25 号（掲載予定） ③ 継承保存資料 ④ ぬまづの宝 100 選公式ガイドブック（P5 と P16 に記載）	

(*) No. は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する最もふさわしい項目一つを、文頭の番号で記載して下さい。